

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月27日

| | | | |
|-------|-----------------------------|-------------|------|
| 氏名 | [REDACTED] | | |
| 所属 | 外国語学部 ([REDACTED]) 研究科 | スペイン語 学科・専攻 | 4年次 |
| 派遣先大学 | バスク大学 | | 9ヶ月間 |

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

| | | |
|----|-----------------------------|--|
| 1 | 住居形態は 何でしたか？ | <input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED]) |
| 2 | 住居形態の詳細を教えてください。 | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (子供3人の5人家族、約8部屋 (最上階なので屋根裏部屋のような部屋がある) シャワールームも3つあるのでかなり広め [REDACTED]) |
| 3 | 入居時手続き | 例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る ([REDACTED] 渡航前から連絡を取り続けて、街についた時に迎えに来てくれ、家についてから家の案内とカギを受け取りました。) |
| 4 | 費用 (月額) | 300 (ユーロ) (食費 食費含む/月) |
| 5 | 支払方法 | 月ごとに現金で手渡し (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど) |
| 6 | 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED]) |
| 7 | 住居選択方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED]) |
| 8 | 周囲環境 | 例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など ([REDACTED] 市の大きなバス停までは徒歩15分程、近くには大きめのスーパーがいくつもあります。) |
| 9 | アクセス | 例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 ([REDACTED] 大学まで徒歩25分前後) |
| 10 | 留学中の住居に関して アドバイス | (今後留学をする学生に対して): ([REDACTED] ホームステイで人の家にお世話になるという事で遠慮がちになり時間も合わせてましたが、自分の好きなように友達や1人でも時間を過ごすべきだと思います。) |
| 11 | 引越しされた方は引越し先の住居形態を記入してください。 | <input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED]) |
| 12 | 詳細を教えてください | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED] ルームメイトは3人; 男子学生のロシア人と社会人のスペイン人が男女一人ずつ、個々一人ずつ部屋があり、キッチン・リビング・ |

トイレ・風呂場は共有です。)

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 日本キャリアの携帯電話 | 持参した |
| 2 | 現地キャリアの携帯電話 | 現地でSIMカードを購入 |
| 3 | 現地携帯電話の取得手続きの方法 | 例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (街の携帯ショップ（ポータフォン）に行きSIMを購入) |
| 4 | 自宅のインターネット接続環境 | 無線（大学または寮へのLAN接続） |
| 5 | 大学内インターネット接続環境 | 無線（大学または寮へのLAN接続） |

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。

| | | | |
|----|------------|-----|-----------|
| 1 | 宿舍費 | 300 | (ユーロ) /月 |
| 2 | 食費 | 60 | (ユーロ) /月 |
| 3 | 交通費 | なし | () /月 |
| 4 | 通信費 | 15 | (ユーロ) /月 |
| 5 | 娯楽費 | 100 | (ユーロ) /月 |
| 6 | 図書費 | なし | () /合計 |
| 7 | 学用品（教科書など） | 20 | (ユーロ) /合計 |
| 8 | 被服費 | 150 | (ユーロ) /合計 |
| 9 | 医療費 | なし | () /合計 |
| 10 | 雑費・その他 | 25 | (ユーロ) /合計 |

上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）※日本円または現地通貨で記入。

| | | | |
|----|----------------------|------|---------|
| 11 | 出願料・宿舍デポジット | なし | () /合計 |
| 12 | ビザ申請関連費 | 5000 | (円) /合計 |
| 13 | 航空券代 (休暇時旅行費用は除く) | 18万 | (円) /往復 |
| 14 | その他 | 40万 | (円) /合計 |
| 15 | 留学全日程に要した総額（概算） | 140万 | (円) /合計 |

お金の持って行き方

| | | |
|----|---|-------------------------|
| 16 | <input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：5万円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：楽天カード） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 17 | 現地で銀行口座開設 | してない |
| 18 | 手続き方法・利点・欠点 | |
| 19 | お金に関するアドバイス | カフェやバルは現金で払うのが当たり前ですが、他 |

| | |
|-----------------|---|
| (今後留学をする学生に対して) | は基本的にカードでの支払いが可です。また大きいお札は嫌がられるので大きい買い物をした時やスーパーの自動精算機で細かくして飲食店で小さいお札等で払うのがベストです。 |
|-----------------|---|

IV. 保険・医療について

| | | |
|---|---|----------------------|
| 1 | 海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン） | () か月分で () 円 |
| 2 | 留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？ | いいえ |
| 3 | (2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？ | 選択してください。 |
| 4 | (3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？ | 選択してください。 その他 () |
| 5 | (4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？ | |
| 6 | 日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由は何ですか？ | 胃薬（飲みすぎた時の特効薬だと思います） |

V. 持ち物について

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 日本から持っていったもの | 自分が使い慣れている化粧水、ヘアケア用品、ヘアアイロン、化粧品、室内用スリッパ |
| 2 | 現地で購入したもの | 衣類、シャンプー等の消耗品、コンタクト洗浄液、2つめのスーツケース |
| 3 | (自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの | ロンTなどの少し薄めの長袖の服は朝夕涼しくなるスペインの気候にちょうどいいと思います。 |

VI. 留学先で困ったこと

ヒーター等の暖房器具が自動的に起動するので、スペイン内でも特に涼しい場所に住んでいたせいでもあります。朝晩の冷えがすごかったです。シェアハウスに移動した時は毛布が一枚しか用意されていなかったためコートを上にかけて寒さをしのいでいました。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

日本食に恋しくなるタイミングがあるかもしれませんが、マドリッドやバルセロナの大都市でないと日本食店はみつきりません。(あっても中国人が経営している偽のお店です)もし自分で作るうとしてもみりんやめんつゆの入手も難しいので持ってくるのが良いかと思います。また日本から荷物を受け取る場合、中身によっては1万ほど関税を取られることがある上、受け取りまでに1ヶ月ほどかかります。逆にスペインから送る場合、ネットに載っている情報をもとに税関で引っかからないものだけにきちんとすれば2週間ほどで家まで届きます。手紙などは1週間で届きます。授業中の録音ですが、ボイスレコーダーをわざわざ買わずとも携帯に空き容量があり、データを飛ばすという不安がなければ携帯での録音で十分かと思います。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

| | | | | |
|--------------------|------------------------|------|---------|------|
| 所 属 | 外国語学部 | 学 科 | スペイン語学科 | 5 年次 |
| 氏 名 | | | | |
| 派遣先大学 (国) | バスク大学 (スペイン) | | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | 文学部 | 履修言語 | スペイン語 | |
| 留学期間 | 2018 年 8 月～ 2019 年 5 月 | | | |
| 報告書提出日 | 2019 年 7 月 2 日 | | | |

学修について

1.1. 学期区分

| 学期 | 授業期間 | 試験期間 | 履修登録するまでの過程 |
|------------------------|-----------------------------------|-----------------------|--|
| 【記入例】 Fall Semester | 9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週) | 1 月 24 日 ～2 月 1 日 | 英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、…… |
| Primer semestre | 9 月 10 日 ～ 12 月 21 日 (15 週) | 1 月 10 日 ～1 月 25 日 | 現地学生は最初の授業から履修が確定しているので、授業によっては 1 回目から進みます。留学生は最初の 2 週間ほどは授業を見学でき、どんな内容なのかを自分で確認してから履修を確定します。現地のコーディネーターの方も適切かどうかアドバイスしてくれますが、ほとんどは自分の意思で決めることは可能です。大学側が用意した紙に科目の名前等を記入しコーディネーターのサインを受け取った後、履修を受け持っている事務室で間違いがないかを担当の方と確認して履修登録が完了となります。 |
| Segundo semestre | 1 月 28 日 ～ 5 月 17 日 (14 週) | 5 月 20 日 ～ 6 月 4 日 | 日本と違い前期のテスト期間が終わるとすぐに後期が始まるので、テスト期間中にどのような科目がありこの授業に足を運ぶのかを決めなければいけません。あとは上記同様です。 |

1.2. 履修科目・内容（数字は半角で直接入力してください）

| 学期 | 履修科目名 | 合計時間 | 履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。 |
|---------------------------|---|----------------------------------|---|
| | | (内訳) | |
| 【記入例】 Fall Semester | International relations IIB | 30 時間 | 講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は[⑥]【参考資料】授業時間数について]をご参照ください。 |
| | | 1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週) | |
| Primer seme | Foundations of the Modern Age | 60 時間 | 講義は水曜と木曜に行われていました。パワーポイントを使用し、その内容と先生が述べていたことを書き写して行きました。教会に行き、話を聞く授業が 2 回あり、他にも図書館の利用方法や歴史に関する映画をみる内容もありました。現地の生徒はグループでプレゼンを行っていましたが、留学生は母国の近代史を 20 分前後で行いました。また期末テストも留学生は現地の生徒とは異なり、先生が送ってきた本の一部の要約をするのがテストの代わりとして課されました。 |
| | | 2(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | English I | 60 時間 | 講義は火曜と金曜に行われていました。現地の 1 年生の必修科目に混ざるような形でしたが、指定された教科書を購入しそれを使用して進めていきました。授業中はリスニング、文法、読解など万遍なく行いましたが会話する時間がとても多かったです。中間テストの代わりとして作文の課題があり、期末テストは学年統一問題のようなもので教科書の内容を踏まえた問題でした。 |
| | | 2(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | Contemporary History of the Basque Country | 60 時間 | 講義は火曜と木曜に行われていました。先生が口頭でひたすら話し、たまにパワーポイントを使用しました。先生が生徒に質問を投げかけ、それに生徒が答えるというみんなで進めていくような授業でした。先生が後半で変わり、進行の仕方もパワーポイントを使用するようになりました。プレゼンは各自テーマを決め近代バスクについて 1 人 10 分行いました。期末テストがない代わりに、バスクに関する好きなテーマで 10 枚前後のレポートを提出するものが課題としていただきました。 |
| | | 2(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | Spanish Course for visiting students: intermediate level | 60 時間 | 講義は月曜と水曜に行われていました。レベル指定の教科書を購入しそれにそって進め、文法について行うことが多かったです。プレゼンは好きなテーマで 1 度、課題は教科書の問題ですが毎授業ありました。月に 1 度の外で行う授業があり、公共施設の説明や人々にインタビュー、レシピ作成に関連づけてスーパーでの買い物シミュレーションなどを行いました。 |
| | | 2(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |

| | | | |
|--|---|-----------------------------------|---|
| | | | た。中間、期末共に文法、リスニング、作文から構成されたテストを受けました。 |
| | Ancient History of the Basque Country | 60 時間 | 講義は月曜と水曜に行われていました。パワーポイントを使用した講義で遺跡の写真や古代の歴史家の文章を用いて授業を進めていました。課題は文章の解読が2つ、レポートの構成案、第一回提出、最終提出、そのレポートについての10分のプレゼン、他の大学の先生の講義の感想などがありました。期末テストでは授業内容についての質問について述べるか、ある歴史家の文章の分析をするか選択し答えるものでした。 |
| | | 2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | Medieval History of the Basque Country | 60 時間 | 講義は火曜と木曜に行われていました。授業では先生がパワーポイントで多くの写真を提示しながら進行しました。一度、街の古い建築物を見ながら説明をしてくれる外出の授業もありました。テストはなく課題がレポート1万字のものが2つ、ペアワークで2万字のものが1つで評価されました。レポートの内容としては中世バスクについて述べられた本の評価や自分の意見を述べるようなものでした。 |
| | | 2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | Spanish Course for visiting students: advanced level | 60 時間 | 講義は月曜と水曜に行われていました。前期同様、教科書を使う授業で外出するものも月1ありました。先生は異なり教科書を使用し授業を進め文法等の大事な内容はメモを取りましたが、先生が問題や授業資料モニターに映し口頭で生徒達が順にすぐに答えるやり方がとても多かったです。課題も前期に比べると多く、プレゼンは個人とグループの2つ行い、他にも手紙やレシピ、映画の批評、みんなで一つの物語を作る等、教科書の課題に加えネット上で提出するものは多かったです。中間と期末に関してはリスニング、文法、作文、単語力、という構成からなるものでした。 |
| | | 2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |
| | Basque Course for visiting students: beginners level | 60 時間 | 講義は火曜と木曜に行われていました。内容としては、個人で学校指定の教科書を購入し、それを利用して基礎レベルからバスク語を学びます。月に1度外にて街の人にバスクについて質問した他、街の散策をしました。また他のキャンパスと何度かビデオ通話を行いバスク語での軽い会話も行いました。毎授業の終わりあたりに問題を解き、時間が無ければそのまま宿題となりました。中間と期末ではリスニング、文法、会話の全てを含んだテストを行いました。範囲は教科書で学んだものの中からでした。 |
| | | 2(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週) | |

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

自分の語学レベルが周りのヨーロッパ圏の子たちと比べると圧倒的に低かったのですが、周りと比べすぎると自分の力に自信がなくなる一方になるので自分の出来る範囲の最大限での努力をすることや、やりすぎるとそれもまた自分を圧迫してしまうので、毎日少しずつでも触れて勉強することを心がけていました。主に学んでいた内容が歴史だったので、日本語のサイトで大まかに理解をしてスペイン語のウィキペディアで更に深く理解していくようにしていました。日本でスペインの歴史を学びましたが大半を忘れてしまっていたので、その復習をしながら自分なりに頭に入れていくと授業中で何度も繰り返される戦争や人の名前からも情報が自分の中で広がりスペイン語でも理解がしやすくなりました。それぞれの科目でよく使われる単語というのは固定されてきますし（先生によっては常に難しい単語使ってくる人もいる）論文書くときにも単語や定型文は使えるので復習はしっかりとしていました。

1.3. 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

渡航時の語学力は A2 レベルというかなり低いレベルでした。実際現地につくと人々の話すスピードは、日本の授業とは比べものにならないぐらい早く本当に理解ができませんでした。現在でもネイティブレベルではないので全部がすぐに理解できるとは言えないですが、大まかに理解できます。また難しい話の内容や表現を多く話されると詰まってしまうことは多いですが、留学当初と比べるとリスニング力に関しては大幅に上がったと感じます。単語はスペイン語の授業や普通の授業で出てきたものを復習していました。また他にも現地で DELE の問題集を購入し、余裕があるときはそれを使用しリスニングやリーディングの練習を行いました。ですが、最終的に一番伸びるのは人と会話をするのが大切だと思いました。ホームステイ先や大学の現地の学生が行っていた交流企画に参加をし、スペイン語を使用することである程度のフレーズは自然と出てくるように変わった上、話すときの反応の仕方や口語的な単語ももちろん学ぶことができました。また現地のラジオやテレビを見る事も、リスニングやとある分野の単語を知る事や、スペインの政情を知るのに良い教材だったので時間に余裕がある時は利用していました。

1.4. 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

履修していた科目は主にスペイン語とバスク語、そしてスペイン、主にバスク地方の歴史です。スペイン語は持っていたスペイン語の能力を更に高め、日本の時に学んだことを思い出すような形でもありました。バスク語の授業に関しては後期のみ短期間だったので語学力が伸びたわけでもありませんが、もう一生ない機会だと思い履修しました。バスク語に触れることで、バスク語をなくさないように小学校の授業で取り入れ始めていることや、バスクに関連する行事も今現在も現地の人々によって行われていて盛り上がっていることから文化、言語をなくさないように人々が動いている事を知りました。歴史の授業に関してですが、他の科目よりも圧倒的に難しく課題も大変なものばかりでした。日本語とスペイン語の両方を使い少しずつ授業のわからない事を調べ、理解することの繰り返しでした。日本ではやったことない事が多くつまづいてばかりだったのですが、先生たちも詳しく手厚く教えてくださったので最後までやり切れました。課題が多かった為に毎日少しずつやるのが非常に大切で、計画的にやらなければいけなかったのでスケジュール管理をしっかりとするようになりました。どうしてもうまくまとまらず徹夜の日々も続き日本の時よりも勉強する時間がとても多く、めげそうになりかけた時も何度もありましたが、その時にやるしかないという精神面が鍛えられました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

やはりスケジュール管理についてですが、やりたい事と自分の能力の差がすごくおもしろいに行かない日々でした。あれもこれもやりたいし、課題はあるし、終わるかと思いきや倍以上時間がかかってしまい後悔することも頻繁にありました。時間は限られていて永遠にゆっくりと時間をかけてやれるわけでもなく、時には慌てながら課題をおこなう時もありました。できれば落ち着いてゆっくりとやる方がよいので一日の少しの時間でも集中して、出来る事から進めていくことをオススメします。時間がある時期や休日などを利用して課題とは関係ないけど自分のやりたい勉強をし、リスニングや単語など短時間で毎日やった方がよいものは毎日コツコツとやるのがよいと思います。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

元々留学の目的として、日本と違う文化や価値観を知ることによって自分の視野を広げることも挙げていました。日本と異なる常識の中で長期間暮らすことは、日本人とは違う性格の人々から個々の協調性や自分に自信を持つことなどの精神的な部分の成長が特に大きかったです。更に、文化の一つとして時間の使い方や日本とは違う物事のとらえ方を日々見ていく中で、日本での生活では思いつくことのできなかつた考え方をできるようになりましたし、海外で生活することで日本の良さと悪さも改めて理解できるようになりました。またスペイン人とは全てを完璧に理解し合える語学レベルではなかったのですが、やる事すべてが最初は恐怖な事でもありましたが、やるしかない、動くしかないという気持ちとなんとかするという気持ちから行動する日々が多く、深く考えすぎずとにかく動くという行動力に更に磨きがかかりました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

スペインの生活リズム、時間の使い方の違いで部分はありました。現地の学生達が日々集まる企画をしてくれたり自然と集まる予定を決めたりするのですが、開始時間が23時だったり遅い為、日本人にとっては家で落ち着いてしまってもう一度外にでるという気力がなくなってしまうのではないかと思います。実際そうになってしまい、家でのんびりしたいという気持ちが勝ってしまうことが多かったです。開始時間よりも遅くとも、たまにしか来なくとも、現地の生徒達や留学生たちも快く受け入れてくれますが、もちろん多くいけばいくほどお互いの事をよく知れて会話も弾んでくると思うので、疲れを無視してもっとたくさん外出しとくべきだったと後悔はしています。気候も日本とは異なり朝夕はかなり冷えます。服装についてですが、なぜか半袖多め、冬服は全然持たずに渡航しました。一枚持っていた長袖Tシャツはかなり役立ちました。お店のなかや大学はだいぶ暖かく、外がすごく冷えるので重ね着できるような服を持っていくとかなり良いと思います。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。